



前号で述べた如く、人類は脊椎動物の哺乳類に属する生物であつて、約60万年前位以前にはどうやら原始的な人間の形を備え始めたらしいのであります。

しかし、この地上に棲息するあらゆる動物の中でも飛抜けて発達した大脳を持ち主である故に、思考することも学習して知識を向上させることもできるのであります。遺伝を受けて出生してきたものよりも、自から学び、自から習得し、自から思想することの方がその人物の特徴や価値を決定することが大きいのであります。それ故に相手方の人物を観察するには、先ずその顔容や体形の形に捕われなくて、その智性や情緒や思想のあり方をよく観る必要があります。そこで今回は人間の感覚

器官の中で最も重要な眼から考へて行きたいと思ひます。ご承知のように人間の感覚器官は、大部分が求心的にその刺激を伝達するものであつて、その中であつて眼球のみは大脳から遠心的に興奮を網膜に伝えられるものであるが故に、眼球こそは大脳の興奮を直接に伝えられるので、即ち大脳の唯一の窓口であるといえるのであります。

俗に眼が大きいとか小さいとか

婚約する人に対する忠言

透視研究家

その2
亀田一弘

いいですが、これは即ちまぶたが開放されているのが大きいとか、小さいとか考へるべきであります。



す。眼の位置は、頭頂から頭下縁までの中央にあつて、眼の位置の水平線で、全顔面が二等分されるのが、大体現代の人間であると思つてよろしいのであります。

黒人は眼が前方へ出ているし、日本人は概して顔面と平面になつており、ヨーロッパ人の如く凹んだ位置にあるものがあるが、これ等は鼻根の前方突出の強弱によつて生ずるものであります。それ

繩、鹿兒島、四国の一部等には二重瞼が多いようです。二重瞼は南から来た民族、一重瞼は北から来た民族と、大雑把に考へてもよろしい。ヨーロッパ人が二重瞼のように見えるのは、元來が、重であるのが、眼の骨格が凹んだ構造になつている故に生じた一種の皺であります。

以上のようにそれぞれの人が各様に祖先や両親から譲り受けて出生して来た遺伝の具合を考へて、それ等の配分によつてその人達の氣風を考へて、その氣風の人、その教養によつて、又その環境によつて如何ような変化を起すであろうかを考へるのが望ましいのであります。南方の地方の風俗や、その民族の氣風、蒙古や支那大陸地方のそれ等、日本の中でも、それぞれの地方の風俗や風習や氣風等は、それぞれ大いに考察する基礎になるものであります。

等の在り方によつて、即ち、ヨーロッパ型、黒人型、東洋人型等の遺伝を考察して、他の器官と照合して、その遺伝を受けた具合を考へることが望ましいのであります。が、瞼もまた、遺伝を考へるにはよい材料であつて蒙古皺のある蒙古型、ヨーロッパ型、或いは一重瞼、二重瞼等にも區別されるが、中華民国人や朝鮮の人は、大部分が一重瞼であつて、台湾や南支那の方面には二重瞼の人が多く、日本本土では出雲地方、日本海沿岸の一部の地方に一重瞼が多く、沖

次には眼の輝きや、眼の動かし方等を考へてその教養や、その時の氣持を觀察したいと思ひます。(つづく)

159種類
セイコー ホワイトなら
お好きなデザインが選べます



セイコー ホワイトは装いの白。観劇、パーティー...左手に氣品をそえる、優雅な白。あなただけに似合う白を、豊富なデザインの中からお選びください。

世界の時計
SEIKO

株式会社 服部時計店 本社/東京・銀座

ラウンド・タイプ
23石 ホワイト(AWGF)側
.....15,000円



亀田一弘

人間の顔面の骨格は遺伝を受けて生まれて来たものであって、そう簡単に変わるものではない。例えば戦場で戦っている時でも、急に鼻が尖ったり下顎が角張ったりするものではない。然し、眼つきはその都度に色々の変化があつて、サア行くぞという構えでも、飛び出す時にも、サア来いと構える時でも、一々眼の光りが違つていくものであります。

武道の仕合でも、ボクシングのリングの上でも、選手は相手の眼を見ている。それ程に眼の輝きは大切なものであるが、是れはつまり、前号で述べた如く、人間の感覺機関中で眼珠の網膜にのみ大脳から遠心的に興奮が伝達されるからであります。

かくの如くに眼は攻撃的、防御的の意志のヒラメキを瞬間的に表わすと同時に、その人の観念を現わすものであるから、正邪曲直、その人のその時、その時の心のヒラメキをも露わすものであります。

眼の形というのは、即ち臉の裂け方の形をいうのであって、大きい

いは眼臉裂が大きいのであり、小さいのは裂け目が小さいもので、眼球の大きさの大小では無いのであります。

眼が大きい即ち眼臉裂が大きいのは、明るい性格で陽性であります。眼が小さいのは陰性で考えが深く、執着心が強い。

出眼は陽性で凹んだ眼は陰性であるが、それにその人の知性（知



四方白といつて、黒目の四方に白目が見えるのも、大逆人の相とか、結核を患い易いとかといいますが、是れもそれ程に考えなくともよろしい。

白目と言うのは、鞏膜が眼球結膜を通じて見えているもので、黒目の部分が透明な角膜を通じて虹彩と瞳孔とが見えているものであって、そんなに神秘的に考えなく

識では無い、と境遇を考え合せるとよろしい。

昔から三白眼と言つて、眼の白目が黒目の上と左右にあり、あるいは下と左右にあるのをいって、大へんに嫌がるが、是れはそれ程に悪く考えなくともよろしいが、或る場合に精神的の遺伝を受けている人もあります。

ともよろしい。

眼尻が釣り上がった人は感情的になり易く、俗にいう垂れ目は意志の落ちつきを表わす事が多い。

その上に、その人の知性（知識ではない）を考え合はすとよろしいが、人物によつては、釣り目は浅薄、垂れ目は重厚を、或る時は釣り目は無慾を垂れ目は大怒を表

わす事もあるが、垂れ目には時に逆に自己の権威を示したがる人がいる。

おとなしい鯨や象や羊の眼、蛇の眼、鼠の眼、犬の眼、猫の眼、鳥の眼。それから、オーストラリアに棲む、ユーカリの葉を食べて生きるコアラのあの可憐な眼。牛の眼や馬の眼等を、よく見ながら参考にして下さい。必らずや、何か思い当り理解される所があると思います。

眼に限らず、顔面の骨格や、眼や鼻や口の形や大小によつても、それ一つだけを考えないで、他の器官と考え合はせて、よく判断をする必要がありますが、顔面の表情は、その人の平常の心がけや、その時その時の気持ちや感情を知るのに、大いに役立つものであります。大いに役立つものであります。それを押して敢えて行なう時には、その人の顔面の血の気が、善い事と考へた時は血が上り、悪い事と考へた時には、血の気が引くものであります。

平常から詐欺など企んでいる人物は、顔面に脂が浮いて、青白く見えたり、テカテカと光つて見えたりするものであります。

(透視研究家)

ご婚礼衣装 / 趣味の呉服

＝幸福を売る衣裳のみせ＝



■浅草かみなり門本店 TEL 842-2601 (代表) ■
 ■川崎日航ホテル名店街3階 TEL 川崎24-5318-9 ■
 ■各有名ホテル / 全国一流結婚式場衣装ご用達 ■

さいけん
 齊 憲